

[V] New Focus™
A Newport Corporation Brand

ラージエリア フォトレシーバ

Large Area Photoreceivers



- アライメントしやすい大口径
- ゲイン設定可変
- 狭いスペースでも使用できるコンパクト設計

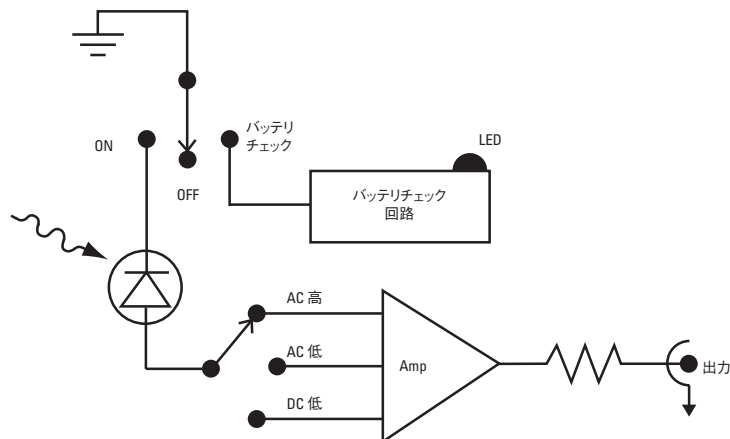
ハウジングがスリムで、出力BNCコネクタとスイッチが上部にあるため、オプティクスなどで非常に限られたスペースにも簡単に設置できます。

5 mmまたは8 mmという非常に大きな検出部直径をもつフォトディテクタです。ビームの位置の少々の変動では再アライメント不要で、フォトディテクタ設置も単にビームが来ていると思われる位置に適当に置くだけの簡単なものです。ラージエリア・フォトディテクタを使用すれば、もはやアライメントに無駄な時間と手間を費やす必要はありません。またゲインは2×103、105、2×106の3段階で任意に設定できますので、実験中のスケールの振り切れを簡単に防げます。

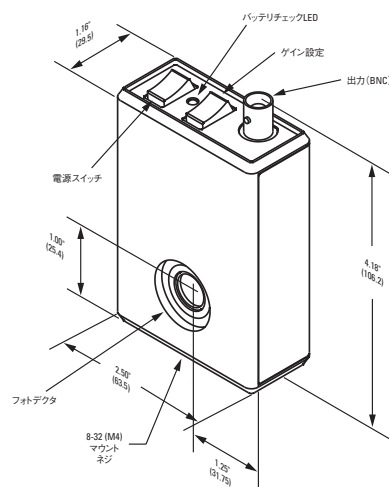
フォトレシーバは、バッテリー駆動ですので、必要な接続ケーブルはフォトレシーバと他の装置を接続する同軸ケーブル1本だけです。これにより、主要なノイズ源となる接地ループを排除できます。(非導電性パッドによりケースをテーブルから絶縁でき、ノイズをより低く保ちます)。内蔵アンプは消費電流値が小さく、バッテリーを長時間使用できます。

実際スイッチを入れたまま約3週間(500時間)はバッテリー交換が不要です。バッテリーの状態が気になるときは、内蔵バッテリーチェックですぐに確認できます。

コンパクトですので既存のシステムに素早く導入できます。またスイッチとコネクタは全てハウジング上部に設けられていますので、アクセスが容易でケーブルを引きずってビームを遮断する心配もありません。



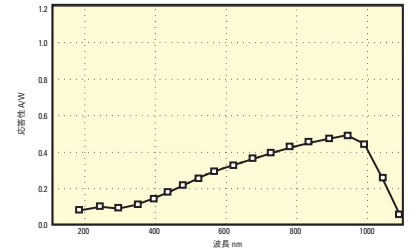
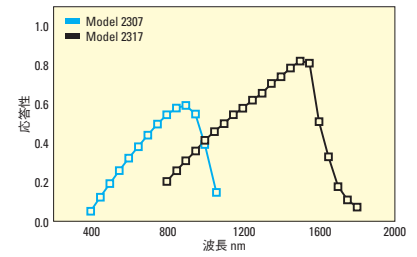
3段階スイッチで、負荷抵抗50 Ω、10 kΩ、または開放回路に設定できます。開放回路設定では負荷抵抗値を任意に設定できます。



Models 203X

モデル2032のフォトディテクタの標準応答性。

モデル	内容	Price
2031	ラージエリア フォトレシーバ、400-1070 nm, 8 mm直径、8-32	¥97,100
2031-M	ラージエリア フォトレシーバ、400-1070 nm, 8 mm直径、M4	¥97,100
2032	ラージエリア フォトレシーバ、190-1110 nm, 5.8 mm直径、8-32	¥121,000
2032-M	ラージエリア フォトレシーバ、190-1110 nm, 5.8 mm直径、M4	¥121,000
2033	ラージエリアGeフォトレシーバ、800-1750 nm, 5.0mm直径、8-32	¥114,000
2033-M	ラージエリアGeフォトレシーバ、800-1750 nm, 5.0 mm直径、M4	¥114,000



	2031	2032	2033
波長 (nm)	400-1070	190-1100	800-1750
帯域幅 (-3 dB)	1 MHz, 150 kHz, & 90 kHz	900 kHz, 150 kHz, & 150 kHz	200 kHz, 30 kHz, & 30 kHz
最大変換増幅率	1.2x10 ⁶	1x10 ⁶ V/W	1x10 ⁶
応答速度 (ピーク)	0.6 A/W	0.5 A/W	0.8 A/W
最大トランスインピーダンス増幅率	2x10 ³ , 10 ³ , & 2x10 ⁶ V/A	2x10 ³ , 10 ³ , & 2x10 ⁶ V/A	2x10 ³ , 10 ³ , & 2x10 ⁶ V/A
出力インピーダンス	100	100	100
NEPノイズ等価電力 pW/√Hz	43 pW/√Hz	58 pW/√Hz	44 pW/√Hz
飽和出力	4 mW	5 mW	3 mW
光入力	フリースペース	フリースペース	フリースペース
ディテクタ直径	8.0	5.8	5.0
ディテクタ材料	シリコン	シリコン	Ge
出力コネクタ	オスBNC	オスBNC	オスBNC
所要電力	9-V電池内蔵	9-V電池内蔵	9-V電池内蔵

光パワーマーター
光学ディテクタ
採用ディテクタ
ハイスピードディテクタ&レシーバ
ビームプロファイラ
微弱光ディテクタおよびセンサ
ビームビジョンディテクタ
ディテクションエレクトロニクス
自己相関器
オートバランスディテクタ
ラジオメータ